

101. 「日本語の文法と構造」の著者名は誰ですか。

（著者名）：川口一也

正解

「日本語の文法と構造」の著者は、川口一也です。

この本は、日本語の文法を構造主義的アプローチで分析するためのもので、特に複数形の形成過程や動詞の構成要素などについて詳しく述べられています。

著者の川口一也は、東京大学卒業後、筑波大学にて日本語の構造論を専門的に研究し、その後、東京女子大学にて准教授として勤務しています。また、著書には「日本語の構造論」「日本語の構造論II」などがあります。

この本は、日本語の構造論を専門的に研究するためのもので、特に複数形の形成過程や動詞の構成要素などについて詳しく述べられています。

著者の川口一也は、東京大学卒業後、筑波大学にて日本語の構造論を専門的に研究し、その後、東京女子大学にて准教授として勤務しています。また、著書には「日本語の構造論」「日本語の構造論II」などがあります。

この本は、日本語の構造論を専門的に研究するためのもので、特に複数形の形成過程や動詞の構成要素などについて詳しく述べられています。

著者の川口一也は、東京大学卒業後、筑波大学にて日本語の構造論を専門的に研究し、その後、東京女子大学にて准教授として勤務しています。また、著書には「日本語の構造論」「日本語の構造論II」などがあります。

この本は、日本語の構造論を専門的に研究するためのもので、特に複数形の形成過程や動詞の構成要素などについて詳しく述べられています。

著者の川口一也は、東京大学卒業後、筑波大学にて日本語の構造論を専門的に研究し、その後、東京女子大学にて准教授として勤務しています。また、著書には「日本語の構造論」「日本語の構造論II」などがあります。

【2-1】

① おもてはなし
② 積極的金言
③ おもてなし
④ おもてなし

【2-2】

① おもてなし
② 積極的金言
③ おもてなし
④ おもてなし

【2-3】

① おもてなし
② 積極的金言
③ おもてなし
④ おもてなし

【2-4】

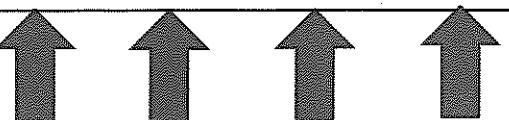
102. 「日本語の文法と構造」の著者名は誰ですか。

（著者名）：川口一也

正解

「日本語の文法と構造」の著者は、川口一也です。

（著者名）：川口一也



「日本語の文法と構造」の著者は、川口一也です。

正解

（著者名）：川口一也

「日本語の文法と構造」の著者は、川口一也です。

（著者名）：川口一也

「日本語の文法と構造」の著者は、川口一也です。

（著者名）：川口一也

「日本語の文法と構造」の著者は、川口一也です。



（著者名）：川口一也

×

B-4 (20×20) こだま原稿用紙は再生紙を使用しております。

卷之三

11

【※田端→田中→田舎→田舎の月→田舎】
〔3年国語科「社会との繋がりを学んでみよう」
名(姓) (名) (姓) (姓)
B ～スルチ原稿～

SDGsの何番が一番わかるか――か(1)以上述べたも

題一ノ二ス

10. The following table summarizes the results of the study.